

みえ広域スポーツセンターだより

H26年度第34号 (2014.11.20)

第143号

2021年
三重で国体開催

♣11月20日 (誕生石) ヘソナイト・ガーネット
(石言葉) 自己暗示の力



11月も半ばになり、そろそろスキー場がOPENする時期です。スキーやスノーボード、そり遊びなど冬にしかできないスポーツを楽しみたいですね。



【チャレンジデー2015実施自治体募集のご案内】

チャレンジデーは、地球規模のスポーツイベントです。

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民総参加型のスポーツイベント。

年齢や性別を問わず誰もが気軽に参加でき、『住民の健康づくり』や『スポーツ振興』、『地域の活性化』のきっかけづくりに最適です。

人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の『参加率(%)』を競い合います。

◆対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインホールに1週間掲揚し相手の健闘を称えるというユニークなルールが特徴です。

◆22回目の開催となったチャレンジデー2014では、北は北海道から南は沖縄県まで全国118自治体(64市43町11村)が実施し、総勢239万人が参加しました。

実施日 : 2015(平成27)年5月27日(水) 午前0時~午後9時

対象 : 笹川スポーツ財団との連携を通じて、スポーツ施策の充実を図りたい自治体(市・特別区・町・村)を募集します。

- ①スポーツ振興に関する新たな計画等の策定を検討している自治体
- ②スポーツによる地域の活性化と住民の健康づくりを図りたい自治体
- ③地域団体と行政機関が連携し、生涯スポーツの普及に積極的に取り組んでいる自治体
- ④「スポーツ・健康宣言」を行っている自治体
(例:健康都市宣言、スポーツ都市宣言、スポーツの町宣言等)

目的と効果 : チャレンジデー実施による効果

- ①笹川スポーツ財団の調査実施手法やスポーツ振興に関する各種情報を活用できます。
- ②住民の運動・スポーツ実施への意識向上と習慣化が期待できます。
- ③住民の横断的な交流が図られ、まちの活性化や地元への愛着心の向上が期待できます。
- ④対戦相手の自治体をはじめ、全国からエントリーする自治体とスポーツ振興に関する情報交換ができます。

申込締切り : 2015(平成27)年2月13日(申込方法はホームページ等でご案内いたします)

サポート : ①運営資金面の支援…事業の実施に必要な経費の一部(詳細は事務局までお問合せください)
(予定) ②周知・PRグッズの提供…ポスター、Tシャツ、横断幕等
③その他…チャレンジデーの円滑な運営に必要な担当者への各種情報の提供等

お問合せ : 公益財団法人笹川スポーツ財団 研究調査グループ チャレンジデー担当
TEL : 03-5545-3303 FAX : 03-5545-3305
Email : cday@ssf.or.jp URL : <http://www.ssf.or.jp/>

詳しくは、公益財団法人笹川スポーツ財団のホームページをご覧ください。
(<http://www.ssf.or.jp/>)

【みえのスポーツ応援隊の活動について】

『みえのスポーツ応援隊』が各イベントで活躍していただいております。



★平成26年度応援隊年間活動(予定)表

4月) R260ロードフェスタ	11月) 2014伊賀上野シティマラソン
5月) KYORAKU MORE SURPRISE CUP2014	11月) 2014名張ひなち湖紅葉マラソン
6月) 第1回伊勢志摩サイクルフェスタ	11月) 木曽三川ウルトラマラソン2014
7月) 宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール	11月) 平成26年度「夢追人 吉田沙保里大賞」表彰式
9月) みえスポーツフォーラム2014	1月) 第23回かめやま「江戸の道」シティマラソン大会
9月) 国体三重県選手団結団壮行式	2月) 第29回名張青蓮寺湖駅伝競走大会
10月) 勢和多気MTBレースJ2	2月) 第8回美し国市町対抗駅伝
11月) 第17回ひさいし榎原温泉マラソン	



■第31回介護予防運動スペシャリスト養成（資格認定）講習会

高齢社会における緊急課題である介護予防に対する社会的ニーズに対応するため、介護者等の自立生活の支援に必要不可欠である“身体機能の回復・維持・向上を主たる目的”とする指導者を養成する講習会です。

期 間：平成26年12月19日（金）～12月21日（日）[3日間]

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟5F 501研修室
〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL:03-3469-2525（代表）

受講資格：①満18歳以上で公益財団法人日本スポーツクラブ協会の中高老年期運動指導士、スポーツクラブインストラクターの資格を取得されている方、または介護福祉士、健康運動士など所定の介護系または運動系の資格を取得（申込時に証明書コピーを提出）されている方
②大学、短大及び専門学校で、福祉、介護、保健、体育、スポーツ関係の資格取得見込（学生証のコピーを提出）の満18歳以上の方

定 員：約50名（先着順により定員になり次第、締め切らせていただきます）

受講料：一般）30,000円（消費税込） 維持会員）27,000円（消費税込）

諸費用：レポート審査料 2,000円、認定証 2,000円、登録料（2年間）6,000円

問合せ先：公益財団法人日本スポーツクラブ協会 介護予防運動スペシャリスト資格認定講習会担当係
〒151-0053東京都渋谷区代々木3-1-10 代々木中央ビル102
TEL：03-5354-5351（代） FAX：03-3373-0021
E-mail：info@jsca21.or.jp URL：<http://www.jsca21.or.jp>

■第29回東日本・中高老年期運動指導士養成（資格認定）講習会

「中高老年期運動士」を取得されますと、公益財団法人日本スポーツクラブ協会の「介護予防運動スペシャリスト」養成（資格認定）講習会及び公益財団法人健康・体力づくり事業財団が実施する健康運動実践指導者養成講習会の受講資格を付与されます。

対象者：中高年齢、向老年者の健康づくり指導に携わっている者、もしくは携わろうとしている満18歳以上の方

実施日時：平成27年1月17日（土）・18日（日）
第1日目（受付開始12:45） 13:00～18:30（予定）
第2日目（受付開始 8:50） 9:00～15:45（予定）

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟5F 501研修室
〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL:03-3469-2525（代表）

参加費：一般）20,000円 協会維持会員・指導者登録会員）17,000円
（希望者は上記参加費の他にレポート審査料2,000円、認定料2,000円、登録費6,000円（2ヶ年）がかかります）

定 員：約70名（先着により定員になり次第、締め切らせていただきます）

問合せ先：公益財団法人日本スポーツクラブ協会 事務局
〒151-0053東京都渋谷区代々木3-1-10 代々木中央ビル102
TEL：03-5354-5351（月～金曜日9:30～17:30） FAX：03-3373-0021

詳しくは、公益財団法人日本スポーツクラブ協会のホームページをご覧ください。
(<http://www.jsca21.or.jp/>)

【発行】みえ広域スポーツセンター

三重県地域連携部 スポーツ推進局 スポーツ推進課 企画・地域スポーツ推進班（鈴鹿市駐在）
〒510-0261 三重県鈴鹿市御園町1669番地（三重交通Gスポーツの杜鈴鹿内）
TEL:059-372-3519 FAX:059-372-3518 E-mail:m-kouiki@pref.mie.jp
<http://www.pref.mie.lg.jp/D1SPORTS/tiiki/kouiki.htm>

